

平成26年度

事業報告

公益財団法人 瀬戸市文化振興財団

目 次

I. 事業概要	1
II. 事業説明及び事業実績	
1. 文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1）	2
2. 人材育成と市民の主体的な文化芸術活動を支援し 奨励する事業（公益目的事業2）	8
3. 文化財の調査・研究、資料の収集・整理・保管を行い、調査・研究 成果の情報と学習活動の機会を提供する事業（公益目的事業3）	11
4. 管理運営を受託した施設を公益目的とした事業以外に 貸与する事業（収益事業1）	14
III. 庶務の概要	15
IV. 付属明細書	18

I. 事業概要

当財団は、平成24年4月1日から公益財団法人として新たなスタートを切りました。以来、公益法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民をはじめ皆様に親しまれ、満足いただける事業展開に努めてまいりました。

一方、市や国からの補助金を受けて事業を実施する法人として、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めてまいりました。

瀬戸市の文化行政と目的を共有した事業展開を図り、陶祖800年祭の各事業をサポートし、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与するため全力で取り組んでまいりました。

1. 公益目的事業1

文化芸術の振興を図るため、瀬戸市の文化施設を活用してさまざまな分野の鑑賞事業や体験事業、国際アート事業を実施し、市民が身近に文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保・提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与しました。

2. 公益目的事業2

陶芸やガラス工芸等に関する分野の専門知識・技能を習得する研修や創作・発表といったコンクールなどを実施することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励することにより、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

3. 公益目的事業3

瀬戸は中世から現代にかけて1000年余の歴史を持つ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史でもあります。

本市の最大の特徴である窯業の歴史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報の提供と学習活動の機会の提供を行ってきました。また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行ってきました。

4. 収益事業1

瀬戸市より管理運営を受託している瀬戸市文化センターの施設を公益目的とした事業以外に貸与する事業を行いました。

1. 文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1）

（1）舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催公演事業）

内容： 文化センター文化ホールを会場とし、各ジャンルや幅広い年齢層に対応した鑑賞型ホール事業を開催しました。

事業名	委託先	開催日	入場料	入場者数
みんなのうたコンサート	NHK プラネット中部	8/3 (日)	全席 2,200 円	600 人
メルビッシュ湖上音楽祭 ガラ・コンサート	(株)プロアルテムジケ	10/4 (土)	一般 6,000 円 学生 3,000 円	324 人
愛知県立芸術大学 管弦楽団特別演奏会	愛知県立芸術大学	11/9 (日)	一般 1,000 円 高校生以下 500 円	659 人

（2）美術鑑賞の機会を提供する事業（企画展開催）

① 美術作品の展示を行う事業（美術館企画展）

内容： 美術館企画展事業として、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

展覧会

事業名	開催期間	入館料	入館者数
特別展 陶祖 800 年祭記念 せとものフェスタ 2014 第 1 回瀬戸・藤四郎トリエンナーレグランプリ受賞者展「田中良和展」 「古瀬戸の全貌－瀬戸焼の黎明と発展－」	4/19～6/1	大人 500 円 高大生 300 円	1,556 人
特別展 「美術工芸の明日を担う 20 人展」	6/7～7/27	大人 300 円 高大生 200 円	1,605 人
企画展 「長江真弥作品展」	8/2～9/23	大人 300 円 高大生 200 円	950 人
特別企画展 「利川古陶磁展」・「日韓交流美術展」	10/1～ 11/24	大人 500 円 高大生 300 円	1,489 人
企画展 「鈴木青々展」 「魅惑の北欧デザイン展」 常設展 「瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム招聘作家作品展」	11/29～ 1/18	大人 300 円 高大生 200 円	1,598 人

特別企画展 「華麗なリモージュ磁器の世界」	1/31～3/15	大人700 円 高大生 300 円	2,629 人
瀬戸市美術館 年間開館日数	292 日	年間入館者数	10,114 人

関連事業等

演 題	講 師	開催日	開催場所	参加者数
講演会 「古瀬戸の黎明」	藤澤 良祐氏 (愛知学院大学 文学部教授)	5/10 (土)	文化セン ター 文化交流館	40 人
「美術工芸の明日を 担う20人展」 スペシャルギャラ リートーク	井谷 善恵氏 (多摩大学グロ ーバルスタディ ーズ学部講師)	6/7 (土)	瀬戸市美 術館	50 人
座談会 「日本美術工芸の明 日」	井谷 善恵氏 (多摩大学グロ ーバルスタディ ーズ学部講師) 他	6/8 (日)	文化セン ター 文化交流館	65 人
講演会 「伝統を踏まえ前進 する工芸 - 瀬戸の明 日」	井谷 善恵氏 (多摩大学グロ ーバルスタディ ーズ学部講師)	7/5 (土)	瀬戸市美 術館	40 人
「鈴木青々展」 ギャラリートーク	鈴木 紹陶武氏	12/6 (土)	瀬戸市美 術館	20 人
講演会 「リモージュ磁器の 魅力」	セリーヌ・ポール 氏 (アドリアン・デ ュブーシェ国立 美術館館長)	2/1 (日)	文化セン ター 文化交流館	101 人
ワークショップ 「リモージュの技」	マチュー・ピュス ロ氏 (エスプリ・ポル セレーヌ)	3/8 (日)	文化セン ター 文化交流館	50 人
国際工芸都市シンポ ジウム	メアリー・カーシ ョー氏 (ニューメキシ コ美術館館長) 他	3/7(土) 3/8(日)	文化セン ター 文化交流館	120 人

- ② 陶芸・ガラス工芸作品に特化して展示を行う事業（新世紀工芸館企画展）
 内容： 展示棟では、陶芸及びガラス工芸分野等における作家の「二人展」を中心に、交流棟では季節ごとにテーマを設けた企画展を開催しました。

展示棟企画展

事業名	開催期間	入館者数
瀬戸染付工芸館改称記念「瀬戸染付の今」	4/2～6/22	1,581 人
「新世紀の軌跡Ⅱ—瀬戸市新世紀工芸館 修了生の現在—」	6/28～9/21	1,507 人
瀬戸クラフト協会設立50年記念・陶祖800年祭記念 「瀬戸のクラフトの系譜—昨日、今日、明日へ—」展	10/11～1/25	1,639 人
工芸館展示棟 年間開館日数	282 日	年間入館者数 8,443 人

交流棟企画展

事業名	開催期間	入館者数
陶とガラスの五月人形とお祝いの日のうつわ展	4/5～5/25	1,189 人
ガラスと青と白のうつわ展	5/31～7/27	1,200 人
「seto しごと展 vol.3」 同時開催「新世紀工芸館研修修了生展」	8/2～9/28	2,249 人
うちごはんのうつわ展	10/4～11/24	1,190 人
陶とガラスの冬のおくりもの展	11/29～1/18	897 人
陶とガラスの雛人形とお茶を楽しむうつわ展	1/24～3/15	2,387 人
工芸館交流棟 年間開館日数	275 日	年間入館者数 9,242 人

- ③ 歴史的工芸品の展示を行う事業（瀬戸染付工芸館企画展）
 内容： 伝統的なやきものである「瀬戸染付」の歴史的な品を展示する企画展を開催しました。

事業名	開催期間	入館者数
改称記念企画展「瀬戸染付名品展」	4/2～6/30	1,938 人
瀬戸染付の魅力—特徴と技法—	7/2～9/29	1,426 人
明治・大正・昭和の瀬戸染付	10/1～12/27	1,112 人
呉須の青を楽しむ—瀬戸染付	1/5～3/30	1,833 人
染付工芸館 年間開館日数	305 日	年間入館者数 6,309 人

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

内容： やきもの文化・技術を伝えるため、各種体験教室等を開催しました。
また、次代を担う子どもたちを対象として文化芸術を体験する機会を提供するため、文化団体が実施する体験講座を支援しました。

(ア) 新世紀工芸館体験事業

事業名	開催期間	参加者数
「陶芸体験」 ロクロ体験、手びねり体験、絵付け体験	毎月第1、第3日曜日 午前・午後	175人
「ガラス体験」 吹きガラス体験、サンドブラスト体験	4月、5月、6月、10月、11月、12月、2月の年7回	64人

(イ) 瀬戸染付工芸館体験事業

事業名	開催期間	参加者数
改称記念事業「瀬戸染付を楽しもう！」「瀬戸染付にチャレンジ！」	4月11、12日および29日	61人
「瀬戸染付体験教室」	5月～3月(月1回)	233人
「常設染付体験」	通年	作品307個

(ウ) 文化体験講座

事業名	開催期間	参加者数
夏休み期間中に、文化協会会員が講師を務める初心者を対象とした文化講座で、「ハッピーマジック教室」「やさしい箏はじめ」「コラージュ(貼り絵)」「楽しく漢字を学ぼう」「大書に挑戦」「楽しく箏をひきましょう」「日本の文化世界に一つの扇子を作ろう」「水彩で未来の町をかこう」「おどってみましょう！にほんのおどり」「ヴィオリラを弾いてみましょう」「香りと押し花」「楽しく百人一首で遊ぼう」「子供茶道教室」「津軽三味線」「日本の文化の華 箏をひこう」「子供太鼓教室」「囲碁で脳トレしてみよう」の17講座	7/22(火) ～8/27(水)	285人

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業（国際セラミック＆ガラスアート交流プログラム）

内容： 国際的に活躍する陶芸家・ガラス工芸作家を瀬戸に招聘し、滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを実施しました。また、招聘作家の作品の世界や創作活動の紹介を通して作家の理解を深めるとともに、招聘作家の指導のもと、粘土・ガラスを素材とした造形を体験する機会を提供しました。あわせて、滞在制作作品の展覧会を開催しました。

(ア) アーティスト・イン・レジデンス

招 聘 作 家		国 名	滞在期間
ラフィ・ミュンツ	陶芸	イスラエル	11/1～12/27
バルバラ・ヤガディチ	ガラス工芸	ハンガリー	11/1～12/8

(イ) スライド・レクチャー

招 聘 作 家	内 容	開催日	開催場所	参加者数
ラフィ・ミュンツ	手びねりの巨大作品を廃材で野焼きする	11/12 (水)	文化センター 文化交流館	40 人
バルバラ・ヤガディチ	失敗は成功の母			

(ウ) 公開制作

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
ラフィ・ミュンツ	11/15 (土)	新世紀工芸館工房棟	30 人
バルバラ・ヤガディチ			

(エ) ワークショップ

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
ラフィ・ミュンツ	11/29 (土)	新世紀工芸館工房棟	8 人
バルバラ・ヤガディチ			8 人

(オ) 招聘作家作品展

出 品 者	開催期間	開催場所	入館者数
ラフィ・ミュンツ	11/29～ 1/18	瀬戸市美術館	1,598 人
バルバラ・ヤガディチ			

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業（文化施設運営事業）

内容： 瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を市民の文化活動の場として提供しました。

①市民文化に触れる場の提供（地域文化広場運営事業）

文化ホール

会 場	平成26年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
ホール	197	77,546	202	72,485	97.5	107.0
リハーサル室(1)	279	10,733	382	13,149	73.0	81.6
リハーサル室(2)	135	1,555	116	1,955	116.4	79.5
リハーサル室(3)	81	580	39	431	207.7	134.6

文化交流館

会 場	平成26年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
11会議室	464	15,542	470	16,841	98.7	92.3
12会議室	390	15,541	327	15,990	119.3	97.2
13会議室	528	15,182	540	17,242	97.8	88.1
21会議室	233	10,280	240	11,637	97.1	88.3
22会議室	291	19,813	300	22,726	97.0	87.2
31会議室	257	25,540	259	27,488	99.2	92.9
32会議室	398	7,224	409	6,983	97.3	103.5
ギャラリー	250	26,052	249	27,486	100.4	94.8
和 室	146	7,295	127	5,306	115.0	137.5
茶 室	102	3,232	89	2,974	114.6	108.7

②工芸文化に触れる場の提供（新世紀工芸館運営事業）

事 業 名	開催期間	開催場所	入場者数
セラミックアート招き猫展	9/27～10/5	展示棟	1,818 人
瀬戸原型陶彫会作品展	3/20～25	交流棟 2 階	130 人

2. 人材育成と市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業（公益目的事業2）

（1）人材育成の機会を提供する事業（人材育成事業）

内容： 新世紀工芸館は陶芸・ガラス工芸の創作活動の場として、また、瀬戸染付工芸館では瀬戸染付の技術の保存・伝承を図るため、技術・技能を習得するための研修事業を行いました。

（ア）工芸分野における人材育成を行う事業

コース	1 1 期生	1 2 期生	研修生計
陶芸コース	2 人	1 人	3 人
ガラス工芸コース	2 人	3 人	5 人

事業名	開催期間	開催場所	入館者数
瀬戸市新世紀工芸館 第11期研修生 修了作品展 第12期研修生作品展	1/31～3/22	新世紀工芸館 展示棟	1,898 人

（イ）瀬戸染付技術における人材育成を行う事業

2 5 年度入所生	2 6 年度入館生	研修生計
0 人	2 人	2 人

事業名	開催期間	開催場所	入場者数
瀬戸染付工芸館研修生作品展	3/12～3/15	文化センター 文化交流館 ギャラリー	385 人

（2）文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール（美術展・文芸発表会）

（ア）美術作品のコンクールを行う事業（第67回瀬戸市美術展）

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の7部門で作品を広く公募し、優れた作品は表彰するとともに、入賞作品は展示を行いました。

部 門	応募点数（内入選数）	美術展開催期間・場所
日本画	33(23)	10/22～26 入場者数 2,593 人 文化センター 文化交流館
洋 画	138(99)	
彫 刻	10 (8)	
陶 芸	50(35)	
書 道	44(40)	
写 真	139(125)	
工芸美術	38(35)	
合 計	452(365)	

(イ) 文芸作品のコンクールを行う事業（第63回瀬戸市文芸発表会）

内容： 俳句・川柳・短歌・詩の部門で作品を公募し、優れた文芸作品は表彰するとともに、文芸誌「窯火」を発刊し作品を紹介しました。また、講師を招き記念講演会を開催しました。

部 門	撰者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	《一般の部》 応募句数 553 句 特選 12 句、入選 72 句 《小中学生の部》 応募句数 624 句 特選 4 句、入選 88 句	応募句数 119 句	10/9(木) 表彰式 記念講演会 参加者数 約 80 人 文化センター 文化交流館
短 歌	《一般の部》 応募歌数 229 首 特選 6 首、入選 34 首 《小中学生の部》 応募歌数 48 首 特選 2 首、入選 6 首	応募歌数 50 首	
川 柳	《一般の部》 応募句数 351 句 特選 6 句、入選 54 句 《小中学生の部》 応募句数 32 句 特選 2 句、入選 6 句	応募句数 122 句	
詩	《一般の部》 応募詩数 31 編 特選 2 編、入選 4 編 《小中学生の部》 応募詩数 22 編 特選 1 編、入選 6 編	応募詩数 2 編	

② 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

内容： 市民の文化芸術活動を促進するため、邦楽、詩吟と民謡、洋楽Ⅰ、洋楽Ⅱの4部門で「文化の祭典」を実施しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
文化の祭典 「邦楽」	5/18(日)	約 540 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「詩吟と民謡」	5/25(日)	約 700 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽 Ⅱ」	6/15(日)	約900 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽 Ⅰ」	6/22(日)	約600 人	文化センター 文化ホール

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

内容： 近郊の景勝地を訪問する吟行会を開催しました。また、成果は後日に作品集としてまとめ配布しました。

開催日	参加人数	部 門	開催場所
6/4(水)	70 人	短歌、川柳、俳句	水都 大垣 (岐阜県大垣市)

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の部門において、市内で活躍する作家と市内文化団体のコラボレーションによる展覧会「ふれあい芸術展」を開催しました。また、市内文化団体による「書道展」「いけばな展」「市民茶会」をそれぞれ開催しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
書道展	5/9～11	約 400 人	文化センター 文化交流館
陶祖茶会	4/19～20	約 760 人	瀬戸蔵 陶祖公園内茶室 (竹露庵)
ふれあい芸術展	10/29～ 11/2	約 900 人	文化センター 文化交流館
ふれあい茶会	10/31～ 11/2	220 人	文化センター 文化交流館
新春いけばな展	1/24、25	約 500 人	文化センター 文化交流館
新春茶会	1/24、25	678 人	文化センター 文化交流館

(エ) 共催・後援等による市民文化活動の支援

内容： 市民団体等が行う文化芸術活動の共催又は後援を行うことにより、市民の文化芸術活動を支援しました。

事業名	開催日	開催場所	主催者
「現代のヘウゲモノ」展 HYOUGEMONO de notre temps	11/18～ 12/6	パリ日本文化会 館	現代のヘウゲモノ 実行委員会
愛環いけばな協会設立15周年 記念花展及び第 40 回記念 華道豊展	9/17～ 9/22	松坂屋豊田店8F 催事場	愛環いけばな協 会
あいちの伝統文化まつり	1/18	文化センター 文化ホール	愛知県
2015 瀬戸いけばな芸術展	H27/4/11 ～4/12	文化センター 文化交流館	瀬戸いけばな協 会

3. 文化財の調査・研究、資料の収集・整理・保管を行い、調査・研究成果の情報と学習活動の機会を提供する事業（公益目的事業3）

（1）埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

内容： 埋蔵文化財を適切に保護し活用するために、発掘調査や重要遺跡の保存のための試掘調査を行い、その考古学的な調査結果・研究成果を報告書にまとめて公開するとともに、出土遺物を適切に整理・保管し博物館展示等に活用できるようにしました。

（ア）埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査を行う事業（発掘調査）

	市内遺跡発掘調査	陶祖公園内窯跡史跡整備
遺跡名	東洞A窯跡	夕日4号窯跡
所在地	瀬戸市東洞町	瀬戸市藤四郎町
調査面積	200㎡	130㎡
遺跡の性格	窯跡	窯跡
遺跡の時期	近代	江戸時代後期
主な遺構	工房跡	連房式登窯1基、平坦面
主な遺物	陶磁器	施釉陶器、窯道具

	卓ヶ洞窯跡発掘調査	若宮遺跡(若宮町3-130地点)発掘調査
遺跡名	卓ヶ洞2・3・4号窯跡	若宮遺跡
所在地	尾張旭市霞ヶ丘町	瀬戸市若宮町
調査面積	1、200㎡	153㎡
遺跡の性格	窯跡	遺物散布地
遺跡の時期	古墳時代後期	古墳時代・古代
主な遺構	窖窯1基、灰原	遺物包含層
主な遺物	須恵器	須恵器・土師器

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
市内遺跡(今村城跡他)	瀬戸市共栄通他	平成25年度他
夕日4号窯跡	瀬戸市藤四郎町	平成26年度
六角陶碑一字一石経	瀬戸市藤四郎町	平成24・25年度
東印所A窯跡	瀬戸市東印所町	平成24・25年度
卓ヶ洞2・3・4号窯跡	尾張旭市霞ヶ丘町	平成26年度

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）

報告書名	体裁	発行数
第55集 NN-G-47号窯跡発掘調査報告書	A4版 74頁	300冊
第56集 東印所A窯跡	A4版 176頁	400冊
第57集 六角陶碑一字一石経整理報告書	A4版 70頁	400冊
第58集 市内遺跡発掘調査報告Ⅷ 今村城跡	A4版 32頁	400冊

(エ) 発掘調査中に遺構等が検出された遺跡を公開し、説明会を実施する事業（現地説明会）

発掘調査場所	開催日	参加者数
夕日4号窯跡	9/21・28 10/19・26 11/2	合計約 65 人
東洞A窯跡	3月21日(祝)	約 70 人

(2) 窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業

(ア) 瀬戸焼データベースの作成・情報提供を行う事業

内容： 全国の自治体、財団等が発刊した受領図書から瀬戸焼に関する情報を抽出し、全国から出土した瀬戸焼を種類や時代ごとに抽出可能なデータベースの構築、成果を公表するもので、平成26年度は再構築作業を行いました。

・新規図書登録 1,598件

(3) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

演 題	講 師	
古瀬戸後期の展開	藤澤良祐氏（愛知学院大学）	
開催日	開催場所	入場者数
平成 27 年 2 月 21 日（土）	瀬戸蔵多目的ホール	約 80 人

(イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（文化財企画展）

事 業 名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
古瀬戸後期の様相 古瀬戸系施釉陶器 窯の成立と展開	1/24～ 4/5	瀬戸蔵ミュージアム 蔵特別展示室	大人 500 円 高大生・65 歳 以上 300 円	12,545 人

(ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業（瀬戸蔵ミュージアム常設展示）

内容： 瀬戸の伝統産業であるやきものづくりを核に、瀬戸の特徴的な建物のジオラマ復元や窯業関連道具の展示及び、瀬戸焼の歩みなどを紹介する常設展示の一部入れ替えを行いました。

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

事 業 名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
陶祖伝－陶祖伝記 とその時代－	4/19～ 6/1	瀬戸蔵ミュージアム 蔵特別展示室	大人 500 円 高大生・65 歳 以上 300 円	4,190 人
新出土品 矢田川 流域の集落遺跡	6/7～ 7/27			2,599 人
せとでん展～赤い 電車の軌跡～	8/2～ 9/28			7,488 人
瀬戸の絵皿を愉し む～江戸時代後期 風韻薫る鉄絵の世 界～	10/4～ 11/9			3,193 人
学校のお宝大集合	11/15 ～ 1/18			4,529 人

(オ) 文化財、史跡の見学会等を行う事業（文化財見学会）

事業名	開催日	内 容	参加者
文化財講座「瀬戸焼の歴史を遡る」	10/18 11/1・15 12/6・20 1/17	近代から古瀬戸の時代まで時代を遡って瀬戸焼の歴史を解説。陶祖伝についての解説。陶祖公園内の調査成果の報告	合計 約 90 人
展示説明会	1/24(土) 2/21(土)	瀬戸焼の歴史と企画展示解説	合計 約 50 人

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

依 頼 者	派遣日	内 容	対 象
幡山東小学校	4/28(月)・ 30(水)	瀬戸市の遺跡や出土品に関する学 習及び古墳見学	6年生 70人
陶原小学校	5/7(水)・ 5/8(木)	瀬戸市の遺跡や出土品に関する学 習及び古墳見学	6年生 100人
道泉小学校	5/12(月)・ 5/13(火)	塚原古墳に関する学習及び古墳見 学	6年生 31人
品野台小学校	5/14(水)	上品野蟹川遺跡出土品に関する体 験学習	6年生 14人
水野小学校	5/15(木)	穴田古墳出土品に関する学習	6年生 52人
幡山西小学校	5/27(火)・ 28(水)・30 (金)	埋蔵文化財センター施設見学及び 埋蔵文化財の体験学習	6年生 97人
下品野公民館	6/28(土)	品野塾「中世の品野の古窯につい て」	市民 約30人

(キ) 文化財を紹介する映像資料を作成する事業

内容：市内に所在する文化財を中心とする文化遺産の紹介ビデオを作成した。

『無形民俗文化財 郷社祭り』

『風にのって～瀬戸の文化財を巡る～』

『瀬戸に暮らす～洞地区』

4. 管理運営を受託した施設を公益目的とした事業以外に貸与する事業（収益事業1）

当財団が管理運営している文化センターを利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。

公益目的使用以外の割合 30%

Ⅲ 庶務の概要

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 平成26年 4月1日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の常務理事の選定に関する件	役員名簿のとおり選定	書面審議
第2回 平成26年 4月11日	(1) 評議員会開催に関する件	原案通り 可決	書面審議
第3回 平成26年 5月19日	(1) 平成 25 年度事業報告に関する件 (2) 平成 25 年度決算報告に関する件 (3) 第 3 回定時評議員会招集に関する件 (4) 職務執行状況報告	原案通り 可決 " " 了承	瀬戸市文化センター 文化交流館 21 会議室
第 4 回 平成26年 6月27日	(1) 理事長、副理事長及び常務理事の選定に関する件	役員名簿のとおり選定	瀬戸市文化センター 文化交流館 21 会議室
第 5 回 平成26年 11月28日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団嘱託職員就業規程の一部を改正する規程に関する件	原案通り 可決	書面審議
第 6 回 平成27年 2月25日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団臨時職員就業規程の一部を改正する規程に関する件 (2) 平成 27 年度事業計画書に関する件 (3) 平成 27 年度収支予算書に関する件 (4) 平成 27 年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (5) 臨時評議員会招集に関する件 (6) 職務執行状況報告	原案通り 可決 " " " " 了承	瀬戸市文化センター 文化交流館 13 会議室
第 7 回 平成27年 3月25日	(1) 評議員会の招集に関する件	原案通り 可決	書面審議

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回臨時 平成26年 4月25日	(1) 理事の選任に関する件 (2) 評議員の選任に関する件	役員名簿の とおり選任 〃	書面審議
第3回定時 平成26年 6月27日	(1) 平成 25 年度事業報告に関する件 (2) 平成 25 年度決算報告に関する件 (3) 理事の選任に関する件	原案通り 可決 〃 〃	瀬戸市文化 センター 文化交流館 21 会議室
第2回臨時 平成27年 3月16日	(1) 平成 27 年度事業計画書に関する件 (2) 平成 27 年度収支予算書に関する件 (3) 平成 27 年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件	原案通り 可決 〃 〃	瀬戸市文化 センター 文化交流館 21 会議室
第3回臨時 平成27年 3月31日	(1) 監事の選任に関する件	役員名簿の とおり選任	書面審議

(3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
平成26年 5月8日	平成 25 年度事業報告及び決算	適法適正 処理	瀬戸市文化 センター 文化交流館 21 会議室

(4) 役員

役職名	氏 名	任 期
理事長	増岡 錦也	平成 26 年 6 月 27 日から平成 27 年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀井 勝	平成 26 年 6 月 27 日から平成 27 年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

常務理事	丹羽 博	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	深見 和博	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	水野 和郎	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 作助	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 令吉	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 光也	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	亀谷 政代司	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	成田 一成	平成26年6月27日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	小澤 修	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	福岡 秀明	平成26年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(5) 評議員

役職名	氏 名	任 期
評議員	伊藤 典男	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	小沢 英之	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 泰子	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	長江 重和	平成26年4月25日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	亀山 久	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	杉山 仁朗	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	平成24年4月1日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	山田 真司	平成24年4月25日から平成27年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(6) 職員数

	事務局		
	業務課	埋蔵文化財センター	計
事務局長	1人(嘱)		1人
課長補佐・所 長	1人(派)		1人
係 長・副所長	1人(派)	1人	2人
主 任		3人	3人
主 事	1人(派)	1人	2人
嘱 託	4人		4人
臨 時 (常勤)	2人	2人	4人
計	10人	7人	17人

(派) は瀬戸市からの派遣職員

	管理事務所			
	文化センター	新世紀工芸館	瀬戸染付工芸館	計
管理事務所長	1人(嘱)	1人(嘱)	1人(嘱)	3人
嘱 託	6人	3人	2人	11人
臨 時 (常勤)		3人		3人
計	7人	7人	3人	17人

IV 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。